

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

	評 価 日	令和6年11月30日
団 体 名	佐久市・モンゴル親善協会 /	
事 業 名	モンゴル伝統民族楽器馬頭琴&ピアノ 出前授業 朗読コンサート「スーホの白い馬」	
事業経費③	420,456 円	支援金額⑨ 315,000 円

事業の目的・内容	地域の課題 「地域の活性化」を進展する積極的な市民の誕生を促す視点を「国際交流」に求める
	事業内容 市内の14小学校で授業の一環（45分枠）として令和元年度同様にこの活動支援金を活用してモンゴル伝統民族楽器馬頭琴とピアノの演奏に合わせて「スーホの白い馬」を朗読する出前授業を実施する

事業の活動実績	11月12日～15日まで市内14小学校から今年度希望する7校で出前授業を実施した。 ①11月12日午前 中込小学校 体育館 2・3・4年生155名 地域住民の参観有 ② 〃 午後 東小学校多目的室 2年生41名 地域住民の参観無 ③11月13日午前 臼田小学校 体育館 2年生78名 地域住民の参観有 行政視察有 ④ 〃 午後 泉小学校 音楽室 2年生42名 地域住民の参観有 ⑤11月14日午前 平根小学校 多目的室 2・3年生60名 地域住民の参観有 ⑥11月15日午前 佐久城山小学校 音楽室 2年生59名 地域住民の参観無 行政視察有 ⑦ 〃 午後 高瀬小学校 体育館 2年生25名 地域住民の参観無 行政視察有 児童数460名 地域住民及び行政視察者20名程度 報道機関の取材 ・信濃毎日新聞：中込小学校（11月13日朝刊） ・佐久市民新聞：平根小学校（11月29日発行） ・佐久ケーブルテレビ：東小学校（11月13日放送）
---------	--



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	●地域住民の参観による効果 学校の呼びかけでCS推進委員やボランティアの関係者が及び行政関係者の視察があった。また、信濃毎日新聞の報道で知って参観希望者があった。11月14日市民活動サポートセンターの協力を得て、生涯学習センター（野沢）の「つどいの広場」で利用者（幼児・児童・生徒）及び保護者と馬頭琴演奏とモンゴルのお話で交流した。 ●佐久市が行う中学生海外研修モンゴル国への参加希望者が増加する。 令和7年度の応募状況を注視し、本協会は引き続き周知活動を行う。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 ・問題なく計画どおり実施でき、発展的に市民活動サポートセンターの申し出により利用者（幼児・児童・生徒）及び保護者と馬頭琴演奏とモンゴルの話題で交流ができた。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 ・地域住民の参観は、少人数であるが新聞報道で知って参観希望があった。学校ではアンケートのとおりモンゴルに興味湧き、関心が向く機会となった。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 以下の理由で活動費が減額となった。 ・報酬のうち朗読及び伴奏者の報酬を日額から実施校数に変更した。 ・需用費及び使用料等は、車種変更や走行距離の減、印刷のサイズ変更、リハーサル会場の変更により減額となった。
	その他、評価すべき点等	・11月13日信濃毎日新聞で報道され、学校を訪れた市民がいた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	次年度の実施に向けて、次の点を学校に働きかけたい。 ・スーホの白い馬は2年生で学習するので、全校で鑑賞できるよう働きかける。 ・地域住民の参観を一層推進したい。
---------	--

活動記録

年間記録	4月	21日 ・朗読及び伴奏担当者と打合せ 随時 ・講師依頼事項（準備品・リハーサル時間ほか）の調整
	5月	2日・教育委員会事務局打合せ 15日・市教委「教頭会」事業説明 随時・演奏、朗読及び伴奏者と連絡調整
	6月	随時・演奏、朗読及び伴奏者と連絡調整
	7月	12日・市教委より実施7校について通知を受ける 15日・講師、朗読、伴奏者に実施校決定の連絡 16日・実施7校にメールで照会 随時・演奏、朗読及び伴奏者と連絡調整
	8月	1日・実施7校の詳細が確定 随時・演奏、朗読及び伴奏者と連絡調整
	9月	15日・浅間会館（音楽室）でリハーサル 随時・演奏、朗読及び伴奏者と連絡調整
	10月	8日・実施7校にイス、譜面台等の準備依頼 22日・市役所所管課ほか準備状況報告 31日・実施7校にプログラム、プロフィールほか資料をメールする 随時・演奏、朗読及び伴奏者と連絡調整
	11月	・12日～15日 7校で実施 ・アンケート回収
	12月	
	1月	
	2月	
	3月	

「祝 新佐久市誕生20周年」

令和6年度佐久市まちづくり活動支援金活用事業

佐久市・モンゴル親善協会主催

出前授業 モンゴル伝統民族楽器馬頭琴&ピアノ

朗読コンサート 「スーホの白い馬」

馬頭琴 A・デルゲルマーさん

モンゴル国立馬頭琴交響楽団メンバー

ミリオン コンサート協会所属

朗読 水間 みや子さん

同 坂口 寛子さん

ピアノ 渡邊 敏恵さん



佐久市まちづくり活動支援金活用事業
佐久市・モンゴル親善協会主催

出前授業 朗読コンサート 「スーホの白い馬」

♪ プ ロ グ ラ ム ♪

◆オープニング

愛のあいさつ / 作曲：エドワード・エルガー

◆朗 読

～既読作品～ モンゴル民話 「スーホの白い馬」 / 大塚勇三 再話

◆楽器の紹介とモンゴルのお話

～ 馬 頭 琴 ～

◆演 奏

★ オルティン・ドー / モンゴル民謡

★ タタラガ / モンゴル伝承曲

★ 天の馬 / 作曲：スフバートル

◆みんなで歌おう

★ いのちの歌 / 作詞：Miyabi 作曲：村松崇継

★ 故郷（ふるさと） / 文部省唱歌

◆フィナーレ

カントリーロード / ジブリ作品より『耳をすませば』の主題歌

11月12日 中込小学校



11月12日 東小学校



11月13日 臼田小学校



11月13日 泉小学校



11月14日 平根小学校



11月15日 佐久城山小学校



11月15日 高瀬小学校



「スーホ」の世界へ



地域面東信

信濃毎日新

「馬頭琴」でモンゴル知ろう

佐久との姉妹都市協定受け プロ奏者が中込小で演奏

佐久市・モンゴル親善協会は12日、同国の民族楽器「馬頭琴」のプロ奏者を招いた出前授業を市中込小学校で行った。市の友好都市だったモンゴル・ウランバートル市スフバートル区が今年、姉妹都市に格上げされたことを受け、同国への関心を高めようと企画。モンゴルの民話「スーホの白い馬」の朗読に合わせて物語にも登場する馬頭琴を演奏し、2～4年生約150人が音色を楽しんだ。

馬頭琴を弾いたのは、全国で演奏活動をしているモンゴル出身のデルゲルマーさん(40)＝新潟県長岡市。スーホの白い馬は、羊飼いの少年が大切にしていた馬が殿様に取り上げられ、矢を射られて死んだのを悼み、この馬の毛などで馬頭琴を作ったという話だ。馬が殿様から逃げる場面で、デルゲルマーさんは馬の

児童「迫力ある音、民話に感動」



児童の前で馬頭琴を演奏するデルゲルマーさん

いななきや駆け抜ける様子を馬頭琴で表現した。

モンゴルの民謡や日本の曲など計7曲も披露。「いのちの歌」と「故郷」の演奏の際は児童が馬頭琴の音色に合わせて歌った。4年生の

遠藤琉羽我さん(10)は「迫力のある音だった。スーホの白い馬は感動した」と話していた。

「馬頭琴の魅力を伝えたい」とデルゲルマーさん。この日は児童に、楽器の先が馬の頭

の形をしていることや、弓や2本の弦には馬のしっぽの毛が使われているといった馬頭琴の特徴も解説した。

出前授業は15日まで、中込小を含む市内の7小学校で行われる。

東 信

モンゴルの中学生 佐久満喫できた？

姉妹都市交流 市役所を訪問



滞在中の感想を話すモンゴルの中学生たち

佐久市の「姉妹都市」モンゴル・ウランバートル市スフバートル区の11〜15歳の中学生7人が20日、佐久市役所を訪問した。15〜22日の日程でホームステイ先の民家やホテルに滞在し、新海三社神社や龍岡城五稜郭、稲荷山公園などを見学。7人は市内の印象などについて語った。

ボルジゴン・バト・エルデ

お年寄りが多い、街がきれい：印象語る

ネさん(12)は「神社の建物に鉄が使われていないことが不思議」と話した。バヤルスク・アニールさん(11)は「お年寄りの多さ」が気になったという。「紅葉がたくさんある」「ごみ箱が少ないのがある」「ごみ箱が少ないのがある」

「街がきれい」と話す生徒もいた。

市からは、市出身の武論尊(本名・岡村善行)さんが原作を手がけた漫画「北斗の拳」の登場人物をデザインした缶入りあめ「さくしドロップス」

などを贈った。

佐久市とスフバートル区は2006年のモンゴル建国800年記念式典に、佐久市から熱気球とパイロットが派遣された縁で交流を始めた。08年には友好都市協定を締結。翌年から子どもとの相互交流が続いている。今年5月には姉妹都市に格上げした。

市内小中学生がモンゴルに親しむ

市内7小学校で 馬頭琴の演奏会

佐久市モンゴル親善協会（春原晃夫会長）は、佐久市内7小学校でモンゴルの伝統楽器「馬頭琴」の演奏会を開いた。

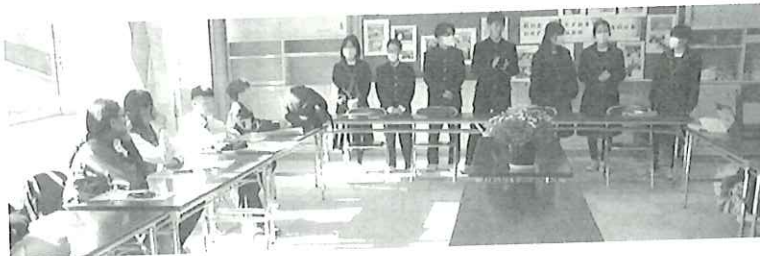


演奏会には中込、東、白田、泉、平根、城山の7小学校で実施。モ

ンゴルのウランバートル市スフバートル区が友好都市から姉妹都市になったことから、小学生にモンゴルをもっと知ってもらおうと企画した。

14日に演奏会を開いた平根小では、モンゴル出身で日本で演奏活動をしているデルゲルマーさんが、民族衣装を身にまとい、モンゴル民話で小学2年生の教科書にも載っている「スーホの白い馬」の朗読に合わせて馬頭琴を演奏。物語の場面に応じて曲に緩急をつけたり、馬の走る様子、鳴き声なども表した。また、物語では馬の骨や皮を使って作られた馬頭琴だが、実際は弓や弦のみに尻尾の毛を使っているのみに、馬の頭の彫刻が施されていることも解説した。（12日から15日）

モンゴル留学生が 小中学生と交流



モンゴルのスフバートル区の10歳から15歳の子どもたち7人が、佐久市を訪れホームステイや小中学生との交

流を楽しんだ。

平成21年から続く交流事業で、今年度で14回目。子どもたちは11月17日から5日間の日程で佐久市に滞在し、新海三社神社や東中、平根小、子ども未来館などの施設を訪問したほか、桃源院で座禅や写経体験もした。

東中ではモンゴルの子どもたちがスライドを使って自分の住む国や風土などを全校生徒に紹介。その後、同校の1年から3年生までの有志でつくる「国際理解グループ」の生徒と一緒に昼食を楽しみながら交流を深めた。

また、モンゴルの子どもたちから「なぜずっとマスクをしているのか」との疑問も飛び出し、「素顔になるのが恥ずかしい」と答える女子生徒もいた。（19日）

「出前授業」アンケート総括表

	学 年	児童数	1.市民の参観	2.全体の印象	3.開催時期
中 込 小 学 校	2・3・4	155名	有	まあよかった	よかった
東 小 学 校	2	41名	無	よかった	よかった
臼 田 小 学 校	2	76名	有	よかった	よかった
泉 小 学 校	2	42名	有	よかった	よくなかった
平 根 小 学 校	2・3	60名	有	よかった	よかった
佐久城山小学校	2	59名	有	よかった	よかった
高 瀬 小 学 校	2	25名	無	よかった	よかった

合 計 458名

1.市民の参観について

- ・CS推進委員や学校で活動するボランティアが参観した。（中込）
- ・信濃毎日新聞（13日）の記事を読んで参観を希望した地域住民がいた。（臼田・泉・平根）
- ・行政関係者の参観があった。（臼田・佐久城山・高瀬）

※新聞報道等について

- ・信濃毎日新聞11月13日「馬頭琴でモンゴルを知ろう 佐久との姉妹都市協定を受けプロ奏者が中込小で演奏
- ・佐久市民新聞11月29日 市内小中学生がモンゴルに親しむ 市内7小学校で馬頭琴の演奏会
- ・佐久ケーブルテレビ11月13日放送「sakuいち」

4. 今回の出前授業でもとも印象に残ったこと

【中込小学校】

- ・実際の馬頭琴の音色を楽しむことができ、とてもよい機会だった。
- ・馬の鳴き声や走る様子を楽器で表現できることに、子どもたちはとても驚いていた。
- ・馬頭琴の音色

【東小学校】

馬頭琴の音色を聞いたのが初めてだったのですが、とてもきれいな音色で、一つの楽器から、メロディーや馬の鳴き声、弓を射る音、馬のかけている音など、いろいろな音が聞こえてきて、とても印象に残っています。

また、すてきなピアノと朗読と馬頭琴との演奏で情景が目には浮かんできました。

【臼田小学校】

- ・馬頭琴の演奏
- ・「スーホの白い馬」の朗読と演奏（効果音）

【泉小学校】

- ・馬頭琴で馬の鳴き声を表現していたこと。
- ・温かいやわらかい音色をしていたこと。
- ・実際に現地の方のお話を聞き、馬頭琴を通して異文化に触れることができたこと。

【平根小学校】

- ・馬頭琴の音色の美しさと音による多彩な表現と演奏です。

【佐久城山小学校】

*プロの方が演奏する素晴らしさと、それを途切れさせることなく続けてくださっている藤牧先生方の努力によってこうして本物に触れることができるという感謝。何よりデルゲルマーさんの泊まりがけで毎年公演に来てくださっているという情熱に感動しました。お礼の気持ちを伝えるためにモンゴル語でのありがとうだけでももっときちんと調べて練習してお伝えしたかったです。（1組担任）

*メロディーだけでなく、馬のいななきや、引き絞られた弓から放たれる矢の音なども再現できるということと、その臨場感。（2組担任）

【高瀬小学校】

馬頭琴の音色がとてもきれいでした。こんなに響くのかと驚きました。

なかなか鑑賞する機会のない楽器ですが、生の演奏を聴くことができて良かったです。

馬頭琴がモンゴルの方にとってどんな存在なのかもお話しただけで良かったです。

5. 児童の感想

【中込小学校】

- ・「スーホの白い馬」を、音楽と一緒に聴けてとてもおもしろかった。
- ・馬頭琴の音が大きくてびっくりした。
- ・馬の鳴き声がそっくりですごかった。
- ・馬のいななきやかけていく音がすごかった。
- ・馬頭琴に触ってみたかった。
- ・きれいな音でよかった。音色が美しかった。
- ・迫力があつた。
- ・とてもきれいで素晴らしかった。またやってほしい。

【東小学校】

- ・馬頭琴の音がきれいでした。
- ・馬頭琴の馬のものまねが上手でした。すごいじょうずで感動しました。
- ・馬頭琴の音がすごくておもしろかったです。一番上のうまの顔のやつがかっこよかったです。聞かせてくれてありがとうございました。
- ・わくわくしたり、おもしろかったです。馬頭琴って、どうやってできるんですか。
- ・馬頭琴のえんそうすごかったです。また聞きたいです。音読もよかったです。一番楽しかったのは、さいごのカントリーロードです。
- ・馬頭琴うやお話を読んでくれてありがとうございました。馬頭琴の音がきれいでした。歌を歌うのも楽しかったです。

【白田小学校】

- ・素敵な演奏ありがとうございました。
- ・馬頭琴を見るのも聞くのも初めてだったので嬉しかったです。
- ・馬頭琴の音色やピアノがとてもきれいでした。
- ・馬が走っている音や、矢が飛んでいる音を出せるのがすごいと思いました。
- ・馬の鳴き声が本物みたいですごかったです。
- ・カントリーロードは知っている曲なのでよかったです。
- ・自分も馬頭琴を弾いてみたいです。
- ・また聞きたいです。
- ・衣装がとてもきれいでした。
- ・お話がとてもいいなと思いました。

【泉小学校】

- ・次の日、糸が束になっているのを見た児童が「馬頭琴だ!」と言って、演奏していた様子をまねしていた。
- ・モンゴルという国に興味を持った。
- ・楽器がすごい。
- ・音色がきれい。
- ・本物の馬みたいな音が出せてすごい。

【平根小学校】

- ・馬頭琴の音で、馬の走る音や鳴き声や弓矢の音が聞こえてきて、とってもリアルな感じがしました。
- ・お話に合わせて、馬頭琴のいろいろな音が聞こえてきて迫力がありました。
- ・弦に馬のしっぽの毛が使われていて、100本以上もあることにびっくりしました。
- ・モンゴルのあいさつを初めて聞きました。主に動物の肉を食べて生活していることも知って、日本とのちがいを感ぜました。

【佐久城山小学校】

○バイオリンの音とは違う初めて聞いた音で、きれいで不思議な音でした。モンゴルの人たちの音楽は、すごく元気で体が動いちゃうくらいですごく楽しかったです。また聞きたいです。

○馬頭琴は馬の尻尾やたてがみを使って作られているって知りました。高い音で、タッタカ弾くと馬が走る音になってびっくりしました。モンゴルは今、冬でマイナス30度～40度になると知り、とてつもなく寒い国なんだなあと思いました。

○馬頭琴の弦は2本だから音は少しと思っていたら、いろいろな音が出てすごかったです。スーホの白い馬は悲しいお話でした。佐久城山小学校に来てくれて、コンサートが聴けたことがすごいと思いました。

○馬頭琴はとてもすごかったです。馬の「ヒヒーン！」がとてもリアルでびっくりしました。弦を触らせてもらった、なんと言ったらいいのか分からない感じで、これでたくさんの音が出るのがすごいと思いました。ゲルマーさんの青い服がとってもきれいでした。

○弓矢の音が再現できていて、馬頭琴を弾いてくれた人がとってもかっこ良かったです！

矢の当たった白馬の悲しいお話だったと思います。3学期に国語で勉強すると言っていたので、自分でもしっかり読んでみたいです。

○馬頭琴は上のところに馬の形がつけられた楽器でした。一本の弦に馬の尻尾の毛が100本から120本使われてるって聞いたけど信じられませんでした。音は鳥肌が立ちました。

○モンゴル生まれのゲルマーさんが、モンゴルの衣装を着て登場しました。『スーホの白い馬』を馬頭琴を使いながら朗読してくれました。馬頭琴の音は三味線みたいな音でとても響いてきました。今日特別にスーホの白い馬の朗読や馬頭琴の説明が聞けてとても嬉しかったです。授業でやるのが楽しみです。

【高瀬小学校】

- ・きれいな音だった。
- ・いろいろな音が出てすごいと思った。
- ・馬の声がして、びっくりした。
- ・馬頭琴を弾けるのが、かっこよかった。

6.改善点や要望

【中込小学校】

- ・子どもたちは、馬頭琴を入れた「スーホの白い馬」の朗読や馬頭琴の演奏はとても集中して聞いていた。
- ・「一緒に歌いましょう」になったら、歌詞がわからないこともあったと思うが、ざわざわしてしまった。
- ・「一緒に歌いましょう」の部分はなくてもよかったかと思う。
- ・馬頭琴をしっかり聴かせたい。
- ・もう少し前に、内容や学校でやっておくことを知らせてほしい。

【東小学校】

今回は2学年41名の参加でしたが、とてもすてきな演奏でしたので、他学年も一緒に参加させていただければ良かったです。また、一緒に歌うのがとても楽しかったようなので、歌えるようにもっと練習をすれば良かったです。また、他学年児童も歌いやすい歌だとありがたく思いました。本当にありがとうございました。

【臼田小学校】

- ・素晴らしい演奏をありがとうございました。
- ・もう少し児童が知っている曲が多いと、更によかったと思います。
(2年生だったので、知らない曲が多かったです。)
- ・出前授業の進め方を、事前に教えていただければよかったと思います。
(学校側が司会進行することなど。)
- ・演目が「スーホの白い馬」であるなら、3学期の学習なので1月か2月上旬にお願いできればありがたいです。
(寒い時期でも実施可能であれば。)

【泉小学校】

貴重な機会でした。感謝しています。今後もお願いします。

開催時期ですが、教科書は2月下旬に取り扱う教材なので、2月下旬か3月上旬に行っていただけると、より子どもたちにとって印象深く、学習にもつながるのでありがたいなと思いました。

【平根小学校】

より臨場感を演出するためにシンバルなども加えてみてはいかがでしょうか。子どもたちもより物語に引き込まれるような気がしました。ありがとうございました。

【佐久城山小学校】

*“一緒に歌おう”のコーナーが設けてくださってあったので、事前に子どもと歌を知ってから参加しました。長い歌だったので歌詞カードを用意しましたが、最後まで楽しんで参加できた子が多くて良かったと思います。可能であれば、事前にいただいた資料の中に歌詞カードがあると迎える側の先生方にとってありがたいのではないかと思います。

*本物に触れることのできる大変貴重な会で、2学年だけで聞かせていただき本当にもったいなかったと思います。複数学年で・全校で聞ける機会にしていくべきだと思いました。

*モンゴルの写真集を見せていただいたり、楽器に触れる機会を作っていただいたり、子どもたちにとって思い出深い時間となりました。ありがとうございました。

【高瀬小学校】

貴重な機会を作っていただき、ありがとうございました。